

ビッグデータの活用によるスマートツーリズム ・デスティネーションの構築と価値共創

Smart tourism destination development and value co-creation through the use of big data



佐野 楓
SANO Kaede

教授
Professor

専門領域 Areas of expertise

■ ツーリズム・マーケティング
Tourism marketing

主な担当科目 Subjects

■ Strategic Tourism
Management (学部)

■ Customer Relationship
Management (学部)

■ 観光学のための経営学研究方
法論 (大学院)

研究活動 Research

スマートツーリズム・デスティネーション(Smart Tourism Destination: STD)は、観光地に競争優位をもたらすための市場戦略の方向の一つとして注目を浴びている。現状では、価値の共創者としての観光客の役割や、観光客、事業者、観光地の間の動的な相互作用についての知識が十分に蓄積されておらず、STDの構築と発展が停滞しているように考えられる。そこで、本研究ではビッグデータの活用と、STDにおける価値共創を促進させるためにDMO (Destination Management/Marketing Organization) が果たすべき役割に着目して、エコシステムとしてSTDを構築し、発展、維持させるための成功要因を究明する。

ゼミ活動 Education

佐野ゼミでは、製品やサービスが「なぜ売れるのか」を分析し、その背後にある「売れる仕組み作り」を考えた上で、教室で学んだマーケティングの知識をリアルな現場で応用し、「Sカレ(Student Innovation College)」の商品企画プロジェクトにチャレンジする。

年間スケジュール

3年次の4月—5月

マーケティングに関する専門知識を身に付けてもらうために、“Marketing Management”&『1からの商品企画』の輪読を行う。

3年次の6月—9月

選択した「Sカレ」のテーマに関して、探索的市場調査、アイデアの創出、コンセプトデザイン、商品の試作、検証的市場調査、企画書作成などの作業に取り組む。(注:7月中に関西圏の他大学とSカレの意見交換)

【ゼミ行事】

Sカレ「秋カン」のため上京(兼ゼミプチ旅行)
例:JAL@羽田空港見学 or 東京ディズニーランド

3年次の10月—11月

商品企画を修正し、「冬カン」における準備を行います。

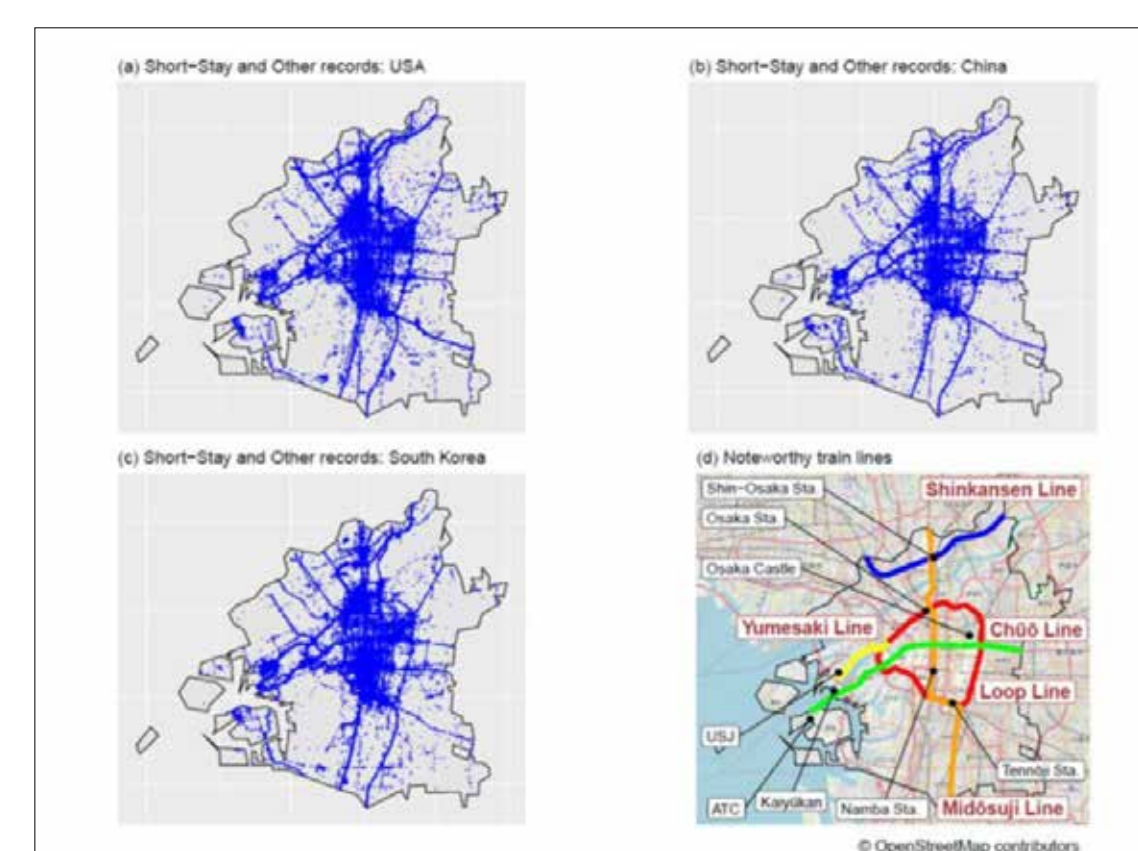
- ①10月下旬に関西圏の他大学と合同ゼミ
- ②商品企画に関するフィールド調査と企業訪問
- ③GPの学生は「Sカレ」の内容を英語でまとめる

3年次の12月—翌年の1月

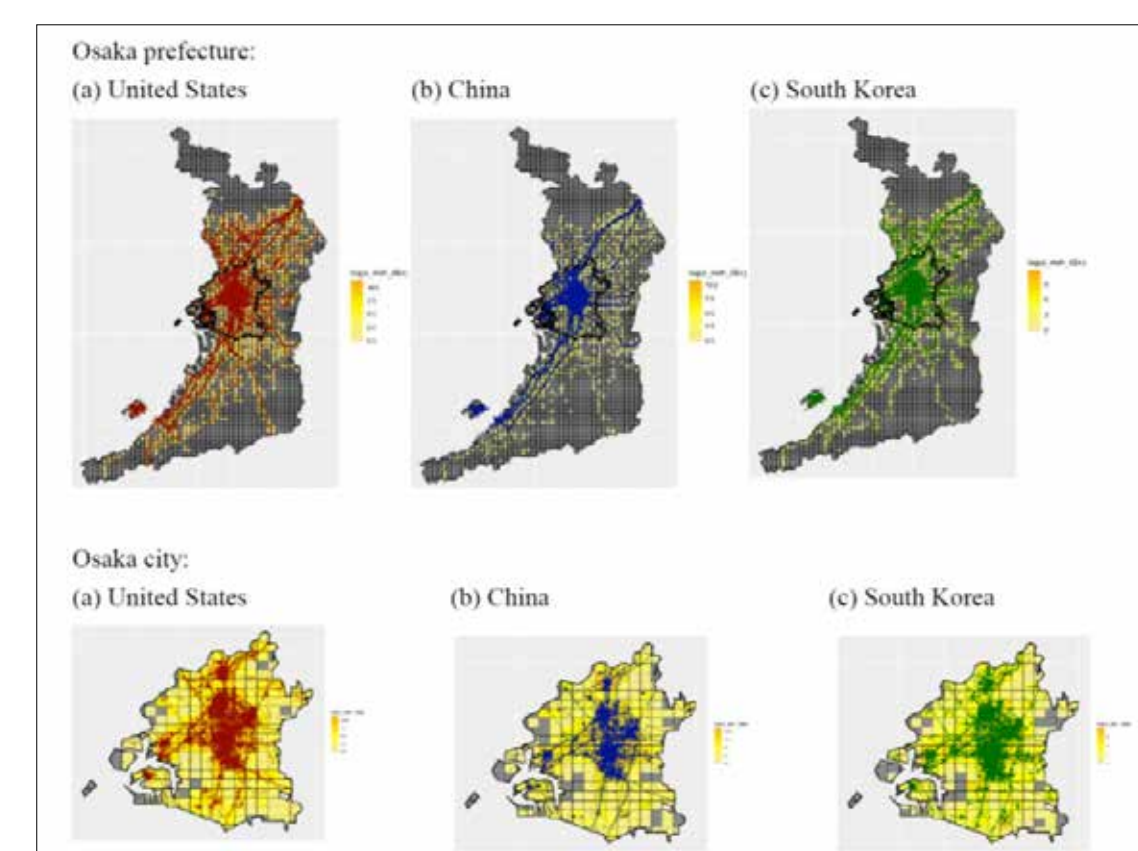
「卒業論文」の準備の段階として、2人か3人で1チームを組んで、「学年論文」を作成する

4年次

卒業論文について、個別指導&面談を実施し、関西圏内の他大学と「卒業論文に関する合同ゼミ」を行う。



研究用画像(来阪外国人観光客の移動パターン解析)



研究用画像(来阪外国人観光客の移動範囲解析)



関空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画グランプリ



ゼミ生が企画した旅行商品(日本旅行・TiS京都西口支店)



tourism

Love your place
Share it with the world